

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	交流・環境	25年度事業・施策評価結果			責任者	企画調整室 環境担当課長
施策名	良好な港湾環境の形成	成果	コスト			
事務事業名	第3次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画の推進	継続	維持	維持	連絡先 連携課	052-654-7819
目的	対象(誰・何を)	本組合より発生する温室効果ガス。			事業 期間	平成24~28年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	総排出量を削減し、環境負荷を低減します。				
概要	目標年度における事務・事業活動から排出される温室効果ガス総排出量の削減目標・取組内容を設定し、計画を確実に推進します。				根拠 法令等	地球温暖化対策の 推進に関する法律
26年度の実施予定	実行計画に定める取組項目・取組事項について、四半期毎の職場単位の報告を受け、その集計結果を記者発表及び本組合ホームページにて公表します。				実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
					関連 シート	

2 DO(実施)

26年度に実施した 内容・結果	実行計画に定める取組項目・取組事項を取りまとめ、平成25年度の集計結果を記者発表及び本組合ホームページにて公表しました。					
コスト	単位	24年度	25年度	26年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	0	0	0	0	
人件費	千円	5,230	4,380	3,524	4,378	
合計	千円	5,230	4,380	3,524	4,378	

3 CHECK(検証)

指標名		24年度	25年度	26年度	最終目標	28	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
環境に配慮した取組 の達成状況(項目)	目標	-	-	13	18		環境に配慮した取組の目標を、達成した項目数を算出します。	
	実績	13	11	11				
(進行管理型)	事業進捗状況(26年度)	順調 やや遅れ・遅れ						
温室効果ガス総排 出量削減率(%)	目標	-	-	3.0	5.0(累計)		平成23年度を基準年度とした当該年度の温室効果ガス排出削減率を算出します。	
	実績	3.9	1.9	7.5				
(進行管理型)	事業進捗状況(26年度)	順調 やや遅れ・遅れ						
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	平成26年度実績として、公用車のエコドライブや港務艇の経済運行、節電の取組などの環境配慮行動の推進により基準年度(平成23年度)より7.5%の削減となり、順調に進捗しております。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○ 名古屋港管理組合においては、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、地球温暖化対策実行計画を策定し推進することが義務づけられています。						
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○ 本組合より発生する温室効果ガス総排出量を削減し、環境負荷を低減することは、上位施策である良好な港湾環境の形成に貢献すると考えております。						
	期待どおりの成果が得られているか?	○						
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 実行計画については、具体的な取組の実施方法並びに監視及び測定の手順を定め、円滑かつ効果的に推進しています。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	27年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	・本組合独自の環境マネジメントシステム(名管EMS)を運用しながら、環境負荷の低減を継続的に図る必要があるため。
課題	27年度以降の取組		
温室効果ガスの排出削減については、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき港湾管理者として継続的に取り組んでいく必要があります。	更なる温室効果ガスの排出削減を推進します。		